

大宝タイムの取り組み

「大宝タイム」のカリキュラム・マネジメント（業前の時間：15分×3回）

どの教科にも通じる、汎用的なことばの力の定着を図るため、年間カリキュラムを作成し、全学年、業前の時間を活用して、「話す・聞く」「書く」「読む」「語彙」の4分野について、月ごとの重点内容を全校で統一し、行っています。「話す・聞く」の学習では、テーマスピーチや話し合い活動に取り組んでいます。他教科や総合的な学習においても話し方・聞き方の指導を継続して行っています。「書く」の学習では、視写や「大宝思考のことば」を活用し短作文に取り組んでいます。「読む」の学習では、詩や名文の暗唱や読書、また、表現力の向上を目指して、音読発表会も行っています。「語彙」では、漢字の意味や同音異義語などの理解の定着に努めています。



基礎学力の向上を目指して

「正しく・速く・美しく」をキャッチフレーズに、目で見ただ文字を丁寧かつ正確に書き写す、視写の活動に取り組みました。子どもたちに運筆力を育てることで、各教科の学習に役立てていきます。

音読発表会

大宝タイムでは、詩や名文の音読にも継続的に取り組んでいます。高学年では、自分たちで詩を作って音読も行っています。体育館で音読発表会を開き、学校全体でことばの響きや、伝え合うよさを子どもたちが味わえるようにしています。

